

## 令和6年 萩市議会6月定例会

### 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	14	西 中 忍	6月13日午前
2	10	佐々木 公 惠	
3	13	関 伸 久	午後
4	9	石 飛 孝 道	
5	3	岡 崎 隆 志	
6	2	浅 井 朗 太	
7	1	水 津 和 男	6月14日午前
8	7	村 谷 幸 治	
9	12	森 田 哲 弘	午後
10	15	長 岡 肇太郎	
11	4	小 林 富	
12	5	瀧 口 治 昭	6月17日午前
13	6	松 浦 誠	
14	11	美 原 喜 大	午後
15	17	宮 内 欣 二	
16	8	森 田 宗 和	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 行政運営における受益者負担について、市長はどう考えるか	<p>1. 市は様々な行政サービスを市民に提供していますが、市民は受益者負担という考えのもと、提供される行政サービスに対し、金銭的な負担やボランティア活動等を行っています。</p> <p>私は、行政サービスを受ける市民は、提供されるサービスに対し、受益者として応分の負担をすることは行政の原則だと考えています。</p> <p>この受益者負担という考えのもと、急速に高齢化が進んでいる中、市が所有している法定外公共物等の清掃や草刈りなどの管理作業等を強いているという現状があります。</p> <p>一方、子育て支援策の一環として毎年、約1億円もの多額な予算をかけ、小・中学校の給食費を無償にしています。</p> <p>そこで、市長は行政運営において、受益者負担という原則についてどのように考えているかお尋ねします。</p>		
2. 行政と町内会等が将来にわたって持続できる協力関係を再構築することが必要ではないか	<p>1. 市では高齢化が急速に進んでいますが、このように厳しい状況の中、各町内会等では多少の違いはあると思いますが、広報菽の配布や無料ごみ袋の配布、また、毎年実施される河川海岸一斉清掃へ参加するなど、様々な面で行政運営に対し協力をしています。</p> <p>しかし、各町内会では、高齢化等で協力することが大変に厳しい状況になっていると思います。</p> <p>そこで、何とか各町内会等が行政運営に協力できている今、行政と町内会等が将来にわたって持続できる協力関係を再構築する必要があると考えますが如何ですか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 高齢者等の移動手段確保は待ったなしではないか</p>	<p>1. 今回、再度取り上げた高齢者の移動手段確保の必要性についてですが、私は令和4年6月議会で厳しい状況を訴えながら、具体的な対策を示し市の対応について質問しました。</p> <p>しかし、2年たった現在でも、大きな変化を感じることができませんし、充実を訴える声を今でも聞いています。</p> <p>そこで、前回の質問以降、厳しくなっている現状をどう把握したうえで、どのような検討を行っているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、「不便になった」という話をよく聞く、萩地域で高齢者の移動手段の1つになっている、まあーるバス利用者の意見などについて、どのように把握しているかお尋ねします。</p>

質問順位	2	質問者	佐々木 公 恵 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 介護支援専門員の現状と課題について	1. 介護支援専門員の人材不足についての要因と課題について 2. 介護支援専門員の業務における課題と対応について 3. 介護支援専門員更新研修の負担軽減について		
2. 外国人材の受け入れと多文化共生社会の実現について	1. 本市における外国人材の受け入れ状況と課題について 2. 外国人材確保や育成に対する施策について 3. 外国人材の宿舎として市営住宅や空き家の活用について		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 熟議の導入と子どもたちの意見の取り込みにより、よりよい学校運営を	<p>1. 現在、萩市の学校教育現場で行われている熟議について、お訊ねする。</p> <p>先の3月定例会で池田教育長から、その一端について、説明があったものである。須佐中学校等の小規模学校で先行して導入されているとのことである。その熟議について、その内容はもちろんのこと、導入する背景、目指すべき方向性について、詳しく説明を頂きたい。</p> <p>この熟議は、現在の学校教育はもちろん、社会のあり方をよりよい方向へ変えることのできる可能性を秘めている。よって、小規模校のみならず、大規模校でも早期に展開する必要があると考えている。今後の方針についても、お訊ねする。</p> <p>次に、学校運営や地域運営において、子どもたちの意見を積極的に取り入れるべきではないか、との意見が市民から出ている。現在、どのような取り組みを行っているのか、お訊ねする。</p>		
2. 消滅可能性都市脱却のため、山口県に陰陽格差解消の積極的な働きかけと高校生のアルバイト解禁を	<p>1. 先日、消滅可能性自治体が民間の有識者グループである「人口戦略会議」から改めて公表された。それによると、山口県に13市あるうちの萩市、長門市、美祢市が依然として消滅可能性自治体である。この3市は、北浦3市とも呼ばれ、主に山陰に位置する自治体である。</p> <p>その主な原因は、陰陽格差の是正が進まないことにあるのではないか。</p> <p>例えば、防府市にある山口県立総合医療センターは、棟建物の耐用年数がまだ残っているにもかかわらず、その建替えが決定している。</p> <p>一方で、萩市の中核病院の形成については、当事者任せのスタンスで、山口県立総合医療センターとは異なり高度先進医療には対応しない二次救急医療を維持するための病院との位置づけである。</p> <p>加えて、企業誘致も山陽側ほど進んでいない。</p> <p>例えば、萩市や長門市などの山陰には小規模な会IT企業、山陽には雇用効果の高い労働集約型の企業の誘致が進んでいる。一次産業や観光は山陰の自治体。産業振興や港</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>湾整備は山陽の自治体など。</p> <p>これは、県政にそのようなバイアスがかかっているからではないのか。このバイアスを取り払うことが、消滅可能性都市を脱する第一歩と考えるがどうか。</p> <p>萩市には、自らを卑下することなく、機会の均等を山口県に求める責務がある。長門市、美祢市、阿武町などと連携して陰陽格差の是正を積極的に山口県に働きかけてほしい。</p> <p>最後に、高校生のアルバイトを解禁するよう山口県や各高校に働きかけてほしい。消滅可能性都市の脱却には、若年者の定住が欠かせない。進学しない高校生はアルバイトを通じて、早く社会で受け入れ、定住に結びつけることが必要である。これには1円の予算も必要ない。議会の議決も不要である。必要なことは、各学校の校則変更である。すぐに取り組むべきである。</p>
<p>3. 観光客へのサインを充実させるとともに、観光の回遊性の確保を</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、はじめて迎えた先のゴールデンウィークは、久しぶりに観光客が市内に溢れる活況の様相であった。特に、後半は人も多く、市内中心部では渋滞も見受けられた。</p> <p>これを受けて、市民の方々から、下記の問題点の提起を受けている。改善にむけて、対応を検討してほしい。</p> <p>(1) 萩博物館交差点から御成道筋に進入する大型マイクロバスが多く、進入後に一方通行規制や右・左折ができないことにより通行不能となるケースが散見されている。よって、大型車の通り抜けに対し、もっと注意を促すべきではないか。</p> <p>これについては、萩博物館交差点から御成道筋進入時の電柱に注意喚起の掲示があるものの、景観に配慮するあまり、あまり目立たず、その存在に気づきにくい。</p> <p>よって、萩博物館交差点の信号機に右折・左折注意の案内板を取り付けられないか。それができなければ、それに代わるものを設置できないか。</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>(2) 先の一般質問で、インバウンド対策として、パスポート提示によりスーパー萩号の無料バス乗車を提案しているが、それを見た市民の方から、JRのフリーレールパスを所有していれば、スーパー萩号のJR便はそもそも無料ではないかとの指摘を受けている。その確認を行うとともに、そうであれば新山口駅に英語でその旨の案内板を設置するべきではないか。デジタルサイネージの取り組みを行うと聞いており、それが案内板に代わるのであれば、そのような発信に期待したい。</p> <p>(3) 萩・明倫学舎への観光客の集中が指摘されている。萩市としても、萩・明倫学舎は萩観光の起点と位置づけている。萩・明倫学舎はいまや萩市を代表する観光施設であり、この市の中心部に位置する施設をエンジンに、どのように回遊性を確保していくのか、経済の相乗効果を高めていくのかと問われている。今後の方策について訊ねる。</p>

質問順位	4	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 越ヶ浜地区有線放送設備について問う	<p>1. 本来であれば改修は行政の役割ではないか。</p> <p>2. 改修に多額の費用を要するが市の補助金は考えられないか。</p> <p>3. 住み慣れた地域で安心・安全に暮らすために必要な整備である。</p> <p>4. 漁業集落維持や若者定住に繋がると思うが市の考えを聞く。</p>		
2. 笠山山頂広場から展望台に行くまでの道路の整備について問う	<p>1. 身体の不自由な方々が容易に展望台に行けて景観を見渡せるために整備は必要だと思うが、市の考えを聞く。</p> <p>2. これからの時節柄、観光客の増加が見込まれるところだが、皆さんに喜んで頂くもてなしの一環として、道路整備は必要だと思うが市の考えを聞く。</p> <p>3. 多くの人に萩ジオパークを知って頂くためにも道路の整備は必要不可欠だが、市の考えを聞く。</p>		

質問順位	5	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 消滅可能性自治体からの脱却に何が必要か	1. 人口戦略会議が発表した消滅可能性自治体に萩市が含まれたが、現状をどう分析しているか。 2. 脱却した近隣自治体との違いをどう分析したか。 3. より深刻な周辺地域をどう維持していくか。		
2. 持続可能な農業実現のために何ができるか	1. 今できることは何か。 2. 中長期に渡るビジョンは。		

質問順位	6	質問者	浅井朗太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中学校の部活動地域移行について	<p>1. 令和8年8月の地域への完全移行を目指し、部活動の地域移行が段階的に始まりました。新年度に入り、現役の生徒や保護者から、様々な声を聴いています。それを受け、当項目について以下お尋ねします。</p> <p>(1) 今年度の部活動入部の実態についてお示してください。</p> <p>① 部活に入らない生徒の学年ごとの数と割合</p> <p>② ①のうち、地域クラブには所属している生徒の学年ごとの数といずれにも所属しない生徒の数</p> <p>2. 移行期間中の部活動の在り方についてお示してください。存続する部活動を「有意義かつやりがいのある活動」とするためには、生徒の配慮が必要です。モチベーションの維持など配慮等されていることや考え方はありますか。</p> <p>3. 地域移行することによるデメリットを考慮または分析していますか。</p> <p>(1) 地域に与える経済効果について</p> <p>(2) 人材育成の場としての育成プロセスの分断について</p> <p>高校の部活動については、国としては今のところ地域移行を推進しているわけではないと認識しています。これまで各種競技や文化活動においては、小学生以下の年代から中学・高校と継続していくことで、技術の向上だけでなく、人材育成のプロセスとして流れができていました。引き続き学校部活動が主体となる高校での部活動の質やレベルへの影響を考慮または分析されていますか。</p> <p>4. 地域の担い手についてお尋ねします。</p> <p>(1) 教職員の兼職兼業は、どのような手続きを要しますか。有償・無償それぞれの場合で手続きや許可基準があればお示し下さい。</p> <p>(2) 教職員以外の公務員が、地域の担い手として指導することは可能ですか。また、有償・無償それぞれの場合で手続きや許可基準があればお示し下さい。</p> <p>(3) 市が担い手として位置付けている地域クラブは、家庭の負担を考慮し廉価な価格設定を条件の一つとしています。民間で単独経営をしている地域クラブや個人の担い手に対しての行政支援の差を、どのように考えていますか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>5. 地域クラブの活動場所についてお尋ねします。</p> <p>(1) 学校部活動を行わないことにより空く学校施設を、地域クラブが使用する際の基準等についてお示してください。</p> <p>(2) 部活動の残る高校と連携する地域クラブ等が今後考えられますが、その活動の際の活動場所はどのように確保していくと考えていますか。</p> <p>(3) 活動場所となる施設を充実することについての見解をお尋ねします。地域クラブの生徒が増加することで、活動場所の数と質の向上が求められています。人工芝・タータン・文化施設・宿泊研修施設整備などによる交流人口創出も含め、市民の萩に暮らす満足度アップへ向けた取り組みを検討していますか。</p> <p>6. 探求活動の場づくりについての検討の進捗について</p> <p>(1) CSワンプロジェクトの進捗状況をお示してください。</p>
<p>2. 萩市カーボンニュートラルチャレンジ宣言について</p>	<p>1. 宣言に至った経緯についてお示してください。</p> <p>いつどのようなきっかけがあって今定例会での市長報告での宣言に至ったのか、時系列的にお示してください。</p> <p>2. 宣言をすることによる目的や目標をお示してください。</p> <p>3. 宣言内容の詳細をお示してください。</p> <p>宣言が形骸的なものとならないためにも、市民の理解が肝要です。宣言内容の詳細についてお尋ねします。</p> <p>(1) エコライフとは、何を示しますか。</p> <p>(2) ゼロではなくニュートラルとした意図はありますか。</p> <p>(3) チャレンジという文言を入れた意図はありますか。</p> <p>4. 具体的に何をするのか。行政主導型、市民参画型などあれば詳細にお示してください。また、環境省による脱炭素先行地域の選定やそれに基づく脱炭素先行地域づくり事業などに踏み込んでいくことを想定していますか。</p>

質問順位	7	質問者	水津和男議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業改革のための継続的な取り組み	<p>1. しろうお漁の回復に向けて</p> <p>(1) 今年の漁獲量はまたまた激減との報道がありました。大変残念に思っています。昨年少し回復したのはぬか喜びであった。今年も卵を産み付ける小石の投げ込みを継続し、また投入場所を松本橋周辺に特化するなど改善取り組みをされました。一定の効果はあったと考えられるが、どのように評価されているか。</p> <p>今後のこととしては、これまでのような単独の対策では効果が期待できそうにない。複合的な対策が必要と思われるが如何か。</p> <p>対策としては、</p> <p>(2) 折角産み付けた卵としろうおの成魚(親)の捕食の防御、アマモ場の再生活動で水質改善、沿岸の小魚の生態系の実態調査、県の栽培センターとの試験栽培(養殖)等々が想定されます。観光シーズン幕開けの強力な呼び水に是非とも繋げたい。複合的な対策の取り組みについて検討願いたいが如何か。</p> <p>2. 続いて、さくらフグ祭りの効果や如何に。</p> <p>(1) 今年度の経済効果は。</p> <p>(2) 保管、加工の体制づくりのその後は。</p> <p>3. 旬の地魚がおいしいまち・萩推進事業で血ぬき・活締めを推進し、所得増加の推進を図る取り組みは強力に進めて欲しい。</p> <p>(1) 推進事業の進捗状況はどの様になっていますか。</p> <p>また特に美味しい時期を旬と捉えています。魚種ごとの旬を表したものがありますか。</p> <p>(2) さらに今後大事になるのが衛生面の確保についてはどのようにお考えか。</p>		
2. 農業改革のための取組について	<p>1. 我が大井で、玉ねぎ・甘夏のとれとれ祭を開催した。雨天にも拘らず大勢の人が参加されイベントとしては、大成功であったが然しながら、農業の在り方としてはもっともっと深掘する必要がある。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	<p>(1) 例えば圃場整備、植え付け、農薬散布、収穫、選別、納品など複数の工程を経る。高品質を維持するためのコストの転嫁をどのようにしていくか検討する必要がある。</p> <p>(2) 一年のフルシーズンを想定した働き方改革を模索し、所得の向上を優先すべきと考えるが如何お考えか。</p>
<p>3. 森林環境税を利用した一次産業の活性化について</p>	<p>1. 地球温暖化防止対策としてする必要がある。木質バイオマスという再生可能なエネルギーを用いて発電を行う循環型事業の取り組みが必要である。</p> <p>(1) 将来的に萩市は人口減少で消滅都市に繋がっており電気料金の負担軽減を視野に入れて対策検討のこと。</p>

質問順位	8	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 子どもの居場所づくり支援について	1. 家庭や学校に次いで地域の居場所として、子どもも大人も安心して過ごすことができるように、地域の皆さんで協力しあって食事を提供する団体を「こども食堂」といいます。昨今、「こども食堂」の需要が高まっていることを受けまして、「子どもの居場所づくり支援事業」の支援枠を増やすことはできませんか。		
2. 萩ドッグランの利用と狂犬病予防について	1. 萩ドッグランの利用者登録数と近年の利用状況はどうなっているか。 2. 萩市に登録されている飼い犬の登録数と、狂犬病予防注射の接種状況はどうなっているか。		
3. 2024年問題への配慮について (働き方改革への配慮)	1. 労働時間の短縮には、発注者の理解と協力が必要となってくると考えますが、公共工事の発注者である萩市としてはどのようにお考えですか。		

質問順位	9	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市内小中学校の2学期制の導入について	1. 萩市内小中学校の2学期制の導入の検討についてお尋ねします。		
2. 萩市と(株)アグリKJの協定について	1. 萩市が(株)アグリKJと予定されている支援の内容についてお尋ねします。		
3. 萩市の第3セクターである(株)たまたがわと(株)アグリKJとの業務提携について	<p>1. 豊田物産(株)から萩市の第3セクターである(株)たまたがわを経由して(株)アグリKJに人、物、お金がどのように流れたかお尋ねします。</p> <p>2. 萩市の第3セクターである(株)たまたがわと(株)アグリKJの製造販売契約をお尋ねします。</p> <p>3. 萩市の第3セクターである(株)たまたがわが豊田物産(株)から有償での事業譲渡契約を結ばれたのですが何故、(株)アグリKJとの業務提携を行わなければならなかったのかお尋ねします。</p>		

質問順位	10	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 移住促進対策について		1. お試し暮らし住宅の拡充はできないか。	
2. ゴミ袋の規格について		1. 現在のゴミ袋は大・中のみであるが、仮に（小）対応ができないか。	

質問順位	11	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 共生社会の実現に向けた合理的配慮の提供について	<p>1. 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（通称：障害者差別解消法）」の改正により本年4月1日より合理的配慮の提供義務化が始まりました。</p> <p>法律に定める「障害者」は障害者手帳を有するひとだけではなく、日常生活や社会生活に制限を受けているひと全てが対象となります。特定のひとではなく、誰しも状況や高齢化によっても社会障壁を感じることに対処することはすべてのひとたちの生活の質向上、住み良い社会へとつながると考えます。</p> <p>(1) 行政機関では以前から合理的配慮義務がありますが、上記の視点での街づくりを進めるにあたりこれまでの相談、問い合わせや申出への対応状況についてお聞きします。</p> <p>(2) 市内での上記施行に伴う理解促進や建設的対話や対応への後押しをどのように萩市として取り組むかお聞きします。</p>		
2. 萩市民病院による急性冠症候群への受入体制と萩市の今後の対応について	<p>1. 萩市民病院では北浦地域の心疾患医療の中心を担う病院としてACS（急性冠症候群）のホットライン体制を確保、急性心筋梗塞への経皮的冠動脈形成術（カテーテル術）に対応しています。萩市では6月1日より受入体制が変化する旨の報道が出ていますが、改めて萩市民病院での対応についてお聞きします。</p> <p>受入体制の変化にはさまざまな背景があるものの、全国的な医師不足や地域での人口減少、働き方改革など環境の変化もあると考えられます。高齢化する萩市においては人材の確保・育成、体制の維持が重要と思われませんが、萩市の取組を伺います。</p> <p>上記の高度専門医療の体制と同様に重要なことは、健康への意識を高めた生活習慣の見直しによる行動変容や健康診断などの受診率向上など健康寿命の延伸です。医療体制と同様にこのような健康づくりに向けた取組も同等に必要と考えますが、高齢化する萩市でどのように市民の健康を守るかお聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 文化財の保全に向けた体制見直しに取り組むべきではないか</p>	<p>1. 今年は萩まちじゅう博物館構想が定められて20年の節目となり、昨年には萩まちじゅう博覧会プレが開催、今年は本格的なプログラムが開催されて文化財の活用が図られています。また、全国最多の重要伝統的建造物群保存地区を有していることから歴史や文化、街並みなどの景観も観光や関係人口の創出の観点からも萩市のブランディングに大きく寄与して柱となっているところは周知のとおりです。今年本格的に始まった萩まちじゅう博覧会でも萩市の文化財の活用や新たな資源の発掘と磨き上げが行われており今後ますますの活用が期待されます。</p> <p>萩市にはこのように多くの文化財を有することが魅力である一方、人口減少に伴う担い手不足などからその維持管理、保全に向けた体制や資金、人員など所有者や地域と協議して今から見直して持続可能な仕組みを作ることが急務であると考えています。</p> <p>所有者の属性や管理の体制、維持管理方法とその担い手など現在の文化財がどのようになっているかを整理して今後どのように見直すか中長期での計画を体系的に整理して個別に計画を作るように提案いたします。</p>

質問順位	12	質問者	瀧口治昭議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の人口定住への方針とその対象者について	<p>1. 日本全体の人口減少は続いています、その最中において山陰4市中浜田市、益田市は消滅可能性自治体市から外れ、萩市、長門市は依然として消滅可能性自治体市からの脱却が残念ながらできていません。</p> <p>何が違い、何が足りないのか、今後萩市にとって何が必要なのか、執行部の方針をお聞きします。</p> <p>また、移住者数が県下では3番目という発表もありましたが、移住者の定義はどうあるのかお聞きします。</p> <p>2. 職を求めて萩市に移住する場合に子育て世代への対応と子育てを終えた世代への対応では扱いに差があるのか現状をお聞きします。</p>		
2. 鹿に対する鳥獣害対策について	<p>1. 農地、山林それぞれにおいて鳥獣害が相変わらず続いているようですが、最近サル、イノシシの被害よりも鹿の被害を周辺地域で耳にします。その対策についてお聞きします。</p>		
3. 帯状疱疹ワクチンの接種への支援について	<p>1. すでにこの質問は、佐々木議員より昨年3月と12月の定例会で2回、美原議員より12月にと、それぞれ質問がされていますが、その折の執行部よりの回答は国の判断を待つといった答弁に始終されていたようですが、その後の他の周辺自治体の実施もあるようですが、その後の市の検討はどのようになっているのかお聞きします。</p>		

質問順位	13	質問者	松浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山陰道大井インター(仮)設置予定に伴う地域活性化について		1. インター付近に農産物等の販売所の設置について 2. 長門大井駅舎の活用について	
2. 脱炭素社会について		1. カーボンオフセット制度について	

質問順位	14	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農業法人（継続の行き詰まり）への対応について	<p>1. 農業法人設立から10年が経過しつつある。ここへ来て、高齢化と担い手不足で、農業法人の解散が出始めた。これは、その地域一帯が耕作放棄地となる可能性がある。近隣の法人へ吸収を促すが、やはり人手不足で、吸収が可能とされない状況である。今後、こうした状況は、加速して出始めるものと思えるが、引いては、農業の衰退及び地域の荒廃へと繋がる。この様な状況を打破するための施策を如何にお考えか。</p> <p>2. 当須佐・田万川管内では、農事組合法人が7法人あり、別途1法人設立の動きがある。しかし、1法人は解散を総会で議決した。又1法人は、継続が出来ないと来年は解散の議案を出すとの意向を聞く。今、弱体化した法人へ、継続への対応（行政も共に考えて対応策）を行わないと荒廃の一途を招く。「待ったなし。」対応策を如何にお考えか。</p>		
2. 地域貢献活動休暇の取り組み状況を聞く	<p>1. 特別休暇（地域貢献活動休暇）に対する条例の設置状況は如何に。設置の意向を聞く。（可否と時期）</p> <p>2. ねらいは、「自治会やNPO等の担い手不足が地方で深刻化する中、兼業などによる職員の地域活動参加を促す」とあるが、農業法人分野の担い手不足による地域活動参加が可能となり得るものか。 （特に、田植えシーズンや稲刈りシーズンのみでも）</p> <p>3. 総務省では、「こうした動きが広まれば、担い手不足の解消と共に職員が地域活動の実態と知ることにも繋がるとある。」積極的な取り組みを期待したいが、如何にお考えか。 質問1の解決策の一助になり得ると思える。条例の設置を。</p> <p>4. 萩市での人事評価制度における地域貢献は評価されているか。兼業許可（農業）申請は、現在も継続中か。</p>		

質問順位	15	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 第3セクター会社(株)たまたがわの経営状況について	<p>1. 現在の第3セクター会社(株)たまたがわの経営状況はどうか。市民や議会に積極的に情報を開示しないのはなぜですか。</p> <p>2. (株)たまたがわの漬物は、すでにアグリKJで製造となっているが、豊田物産との関係はどうなったのですか。</p> <p>3. 豊田物産との契約は完了したか。その対価は支払われているのですか。</p> <p>4. 事業譲渡契約、用地の賃借契約、事務所の賃借契約、製造委託契約、従業員「出向」契約はどうなりましたか。</p> <p>5. シーマーと内にある店舗はどうなるのですか。</p> <p>6. アグリKJとの提携はどんな形になったのですか。</p> <p>7. 300件以上あると言われていたレシピデータの扱いはどうなりますか。ブランドの権利はどうなるのですか。</p> <p>8. 第3セクター(株)たまたがわの漬物事業に係る従業員はどうなっていますか。</p>		
2. 新規就農者支援について	<p>1. 萩市の新規就農者募集の窓口はどこにありますか。</p> <p>2. 萩市ホームページに、新規就農者向けのはっきりした入り口をつくる考えはありませんか。</p> <p>3. 新規就農者向けの支援制度を一括して説明するページを設ける考えはありませんか。また、同じように萩市で農業をするにあたっての支援制度や補助制度を一括して確認することができるページをつくる考えはないでしょうか。</p> <p>4. 萩市の各種補助制度の対象者は、属地主義なのか属人主義なのでしょうか。</p>		
3. マイナンバーカードと健康保険証の廃止について	<p>1. 健康保険証と紐づけされているマイナンバーカードの医療機関での使用率をどう把握していますか。</p> <p>2. 紙の保険証を使う人が多いのはなぜだと考えますか。</p> <p>3. 高齢者・障がい者施設でのマイナンバー保険証はどのように対応されますか。</p> <p>4. 資格確認書と保険証の違いは何か。国保や高齢者医療保険ではどう取り扱うのですか。</p> <p>5. マイナンバーカードに関しての不具合の発生について、萩市内の状況はどうですか。</p>		

質問順位	16	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. インバウンド観光戦略について	<p>1. 市長は、観光三本の矢ということで萩市観光協会、萩温泉旅館協同組合・はぎ温泉配当協同組合、萩市観光課を、明倫学舎3号館に集約されたが、その効果と、今後の課題を聞きます。</p> <p>2. ふるさとツーリズム推進協議会によると、外国人観光客の農泊が増加しているが、観光課との連携と今後の対応を聞きます。</p> <p>3. 2026年秋、山口県でJRデスティネーションキャンペーン(DC)開催を決定したが、県との対応等を聞きます。</p> <p>4. 2025年4月13日(日)から10月13日(月)まで184日間大阪の人工島(夢洲)で、略称、大阪・関西万博が開催されます。多くの外国人が来られますが、山口県・萩市への誘客戦略を県と対応すべきと思うが聞きます。</p> <p>5. 萩市の観光ビデオを見たが、観光財産が主体で人物、動きがないと思う。今後は、「物から事」に時代は移りつつある。観光ビデオの改革が必須と思うが見解を聞きます。</p>		
2. 中山間地域づくり推進の、農泊について	<p>1. 萩市ふるさとツーリズム協議会の農泊の現状と、インバウンド対策を聞きます。</p> <p>2. 中山間地域の過疎化、人口減少対策に役立つと思うが市の考えを聞きます。</p> <p>3. 外国人の日帰り体験で、むつみ地域の大根収穫体験等、非常に人気が高いと聞いているが、他に、農業体験(例えば弥富地区の手打ちそばの体験)等外国人が喜ぶ企画をしてインバウンドに対応しては、と思うが聞きます。</p>		
3. 萩循環まあーるバスについて	<p>1. 2022年10月1日まあーるバスの運行ルートが変更されました。2023年5月8日からコロナも5類感染症になりましたがその後の状況、昨年比等を聞きます。</p> <p>2. 乗客の観光客の割合と、インバウンド対策、観光客増のための対策を聞きます。</p>		